

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年8月7日

【四半期会計期間】 第67期第2四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 立川ブラインド工業株式会社

【英訳名】 TACHIKAWA CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 立川光威

【本店の所在の場所】 東京都港区三田三丁目1番12号

【電話番号】 03-5484-6142

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 竹中伸也

【最寄りの連絡場所】 東京都港区三田三丁目1番12号

【電話番号】 03-5484-6142

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 竹中伸也

【縦覧に供する場所】 立川ブラインド工業株式会社 関東支店
(埼玉県さいたま市北区本郷町787番地)

立川ブラインド工業株式会社 千葉支店
(千葉県千葉市中央区松波二丁目8番1号)

立川ブラインド工業株式会社 横浜支店
(神奈川県横浜市中区日本大通15番地)

立川ブラインド工業株式会社 名古屋支店
(愛知県名古屋市西区児玉三丁目4番4号)

立川ブラインド工業株式会社 大阪支店
(大阪府大阪市北区中津二丁目3番5号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第66期 第2四半期 連結累計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間	第66期
会計期間		自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日
売上高	(千円)	18,047,707	18,913,075	37,194,340
経常利益	(千円)	845,065	981,618	1,586,994
四半期(当期)純利益	(千円)	372,824	352,858	612,647
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	396,329	459,939	563,678
純資産額	(千円)	30,399,527	30,786,804	30,446,833
総資産額	(千円)	43,289,157	44,177,025	43,425,706
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	19.15	18.13	31.48
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	60.8	60.5	60.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	382,421	260,810	1,952,552
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	289,709	174,270	685,025
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	128,430	140,858	265,645
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	7,172,499	8,155,261	8,205,721

回次		第66期 第2四半期 連結会計期間	第67期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	1.16	0.57

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

4. 第66期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社および当社の関係会社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、欧州における政府債務危機や長期化する円高の影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅着工戸数は持ち直しの動きが見られるものの低水準で推移し、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況でありました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、製品ラインナップの拡充や新たな販促物を投入し、売上の拡大を図るとともに、引き続き節電対策を含めたコスト低減活動や将来の市場開拓に向けた海外展示会への出展等にも取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である「くし歯式駐車場装置パズルタワー」の全面見直しに向けた取り組みに着手するとともに、改造・改修工事の営業活動を強化し、受注の拡大と安定した利益確保に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、産業用機械向け販売を中心にマーケティング活動を強化し、お客様の要求を満たす製品の開発・設計に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,913百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は961百万円（前年同期比18.2%増）、経常利益は981百万円（前年同期比16.2%増）、四半期純利益は352百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

窓まわりのトータルコーディネートを提案するため、ライフスタイルごとに多彩なコーディネートを紹介した販促物「ウィンドウ コーディネートブック」を作成し新たな提案活動を行うとともに、新製品では、ロールスクリーン「ラルク」などファブリック5製品に高機能でカラフルな人気のカラーシリーズ「マカロン」の遮光生地10色を追加発売するなど製品ラインナップの拡充を図りました。

また電力節減の需要に対応した製品として、優れた採光性で照明の消費エネルギーを削減する「グラデーションブラインド」を本格発売しました。さらにカーテンレールにおいては、優れた静音性と高い省エネ性を実現した電動カーテンレール「シエルド50」を発売しました。

また、今夏節電にも効果のあるアルミ製ブラインドの遮熱コートスラットやファブリック製品の遮熱生地など省エネ製品の訴求に努め、「窓からエコライフキャンペーン」を実施し売上向上に取り組ましました。

このほか、今後の海外事業展開の布石として、ドイツで開催された業界最大級のシャッター・ブラインド・門扉の国際見本市「R + T 2012」に出展し、日本製品のブランド知名度向上に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は16,253百万円（前年同期比4.4%増）となり、営業利益につきましては、売上高の増加により、829百万円（前年同期比11.8%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

新規物件の販促活動に加え、保守ならびに改造・改修工事において積極的な提案型営業を展開したことにより受注が堅調に推移し、売上高は1,233百万円(前年同期比25.4%増)となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、継続的な原価低減に努めた結果、87百万円(前年同期は6百万円の利益)となりました。

[減速機関連事業]

首都圏で開催された展示会に出展し、お客様のニーズの把握と製品認知度の向上を図るなど特殊減速機を中心に積極的な販促活動を展開いたしましたが、厳しい受注環境にあり、売上高は1,425百万円(前年同期比5.0%減)となりました。営業利益につきましては、原価低減と生産性の向上に努めましたが、売上高の減少により、44百万円(前年同期比31.9%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は44,177百万円で、前連結会計年度末と比較し751百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は26,786百万円で、前連結会計年度末と比較し558百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,390百万円で、前連結会計年度末と比較し192百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得と保有株式の時価の上昇等により投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債)

負債は13,390百万円で、前連結会計年度末と比較し411百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産の取得に伴い設備支払手形が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は30,786百万円で、前連結会計年度末と比較し339百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加および四半期純利益によるものであります。なお、自己資本比率は60.5%と、前連結会計年度末と比較し、0.3ポイントの減少となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ50百万円減少し、8,155百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、260百万円の増加(前年同期は382百万円の増加)となりました。

これは税金等調整前四半期純利益913百万円に対し、法人税等の支払額372百万円、たな卸資産の増加額353百万円、売上債権の増加額279百万円等による減少があった一方で、減価償却費428百万円等による増加があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、174百万円の減少(前年同期は289百万円の減少)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入155百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出280百万円、無形固定資産の取得による支出87百万円等があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、140百万円の減少(前年同期は128百万円の減少)となりました。

これは主に、配当金の支払い119百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は426百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,763,600	20,763,600	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	20,763,600	20,763,600		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月30日		20,763,600		4,475,000		4,395,000

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
有限会社立川恒産	東京都渋谷区代々木2丁目16-4	4,117	19.83
タチカワブラインド取引先持株会	東京都港区三田3丁目1-12	2,191	10.55
更生保護法人立川更生保護財団	東京都港区三田3丁目1-12	1,331	6.41
立川 溥	神奈川県横浜市西区	613	2.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	553	2.67
タチカワ社員持株会	東京都港区三田3丁目1-12	527	2.54
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内2丁目3-1	470	2.27
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2丁目2-1	460	2.22
立川 光威	東京都調布市	419	2.02
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6	415	2.00
計		11,099	53.46

(注) 当社は自己株式1,300千株(6.26%)を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,300,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,417,600	194,176	
単元未満株式	普通株式 45,600		
発行済株式総数	20,763,600		
総株主の議決権		194,176	

(注)1 「完全議決権株式(その他)」の欄には証券保管振替機構名義の株式100株(議決権1個)含まれております。

(注)2 「単元未満株式」には当社所有の自己株式53株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 立川ブラインド工業株式会社	東京都港区三田 三丁目1-12	1,300,400		1,300,400	6.26
計		1,300,400		1,300,400	6.26

2 【役員の状況】

該当事項はありません

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,296,329	8,205,524
受取手形及び売掛金	2 11,735,415	2 12,118,261
商品及び製品	731,265	757,062
仕掛品	1,280,026	1,364,974
未成工事支出金	173,637	231,243
原材料及び貯蔵品	2,862,042	3,049,356
その他	1,186,394	1,098,185
貸倒引当金	37,083	38,191
流動資産合計	26,228,026	26,786,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,708,677	12,331,140
減価償却累計額	7,907,777	7,690,552
建物及び構築物(純額)	4,800,899	4,640,588
土地	7,384,285	7,314,565
その他	13,210,814	13,709,772
減価償却累計額	12,019,445	12,188,220
その他(純額)	1,191,369	1,521,551
有形固定資産合計	13,376,554	13,476,705
無形固定資産	266,709	357,717
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,090	1,235,713
その他	2,548,271	2,385,651
貸倒引当金	142,946	65,178
投資その他の資産合計	3,554,415	3,556,186
固定資産合計	17,197,680	17,390,608
資産合計	43,425,706	44,177,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 6,681,527	2 6,664,889
未払法人税等	352,461	365,100
賞与引当金	179,317	220,141
役員賞与引当金	48,660	26,803
製品保証引当金	671	3,955
その他	2 1,800,465	2 2,265,300
流動負債合計	9,063,104	9,546,190
固定負債		
退職給付引当金	3,529,875	3,421,265
役員退職慰労引当金	278,331	272,456
その他	107,562	150,309
固定負債合計	3,915,768	3,844,031
負債合計	12,978,872	13,390,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,000
利益剰余金	18,377,168	18,632,710
自己株式	666,077	666,152
株主資本合計	26,581,090	26,836,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162,965	100,125
繰延ヘッジ損益	631	849
為替換算調整勘定	34,007	29,094
その他の包括利益累計額合計	196,341	128,370
少数株主持分	4,062,084	4,078,616
純資産合計	30,446,833	30,786,804
負債純資産合計	43,425,706	44,177,025

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	18,047,707	18,913,075
売上原価	10,416,033	11,014,437
売上総利益	7,631,674	7,898,638
販売費及び一般管理費	6,817,593	6,936,714
営業利益	814,081	961,924
営業外収益		
受取利息	1,379	1,527
受取配当金	20,467	22,070
不動産賃貸料	21,650	18,651
その他	45,172	37,270
営業外収益合計	88,670	79,519
営業外費用		
支払利息	151	8
手形売却損	9,984	15,614
売上割引	36,138	36,632
その他	11,411	7,569
営業外費用合計	57,686	59,824
経常利益	845,065	981,618
特別利益		
固定資産売却益	916	35,724
貸倒引当金戻入額	2,723	-
特別利益合計	3,640	35,724
特別損失		
固定資産除売却損	3,430	36,572
減損損失	-	60,828
投資有価証券評価損	26,208	6,810
投資有価証券売却損	-	15
会員権評価損	233	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,300	-
特別損失合計	31,172	104,226
税金等調整前四半期純利益	817,533	913,117
法人税、住民税及び事業税	333,731	384,211
法人税等調整額	85,168	134,240
法人税等合計	418,900	518,451
少数株主損益調整前四半期純利益	398,633	394,665
少数株主利益	25,808	41,806
四半期純利益	372,824	352,858

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	398,633	394,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,124	60,143
繰延ヘッジ損益	1,717	217
為替換算調整勘定	4,103	4,912
その他の包括利益合計	2,303	65,274
四半期包括利益	396,329	459,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375,335	420,829
少数株主に係る四半期包括利益	20,994	39,109

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	817,533	913,117
減価償却費	398,468	428,883
負ののれん償却額	711	711
賞与引当金の増減額(は減少)	4,995	40,823
役員賞与引当金の増減額(は減少)	24,198	21,857
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,133	108,609
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	11,240	5,874
製品保証引当金の増減額(は減少)	3,600	3,283
貸倒引当金の増減額(は減少)	8,196	76,660
固定資産除売却損益(は益)	2,513	847
減損損失	-	60,828
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,300	-
投資有価証券評価損益(は益)	26,208	6,810
会員権評価損	233	-
投資有価証券売却損益(は益)	-	15
受取利息及び受取配当金	21,847	23,597
支払利息	151	8
為替差損益(は益)	2,335	2,424
売上債権の増減額(は増加)	621,539	279,510
たな卸資産の増減額(は増加)	829,675	353,993
仕入債務の増減額(は減少)	235,991	40,268
その他	228,015	12,216
小計	981,928	609,432
利息及び配当金の受取額	21,875	23,548
利息の支払額	158	13
法人税等の支払額	621,224	372,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,421	260,810
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	287,491	280,720
有形固定資産の売却による収入	37,787	155,055
無形固定資産の取得による支出	20,256	87,766
投資有価証券の売却による収入	-	403
投資有価証券の取得による支出	30,285	297
投資その他の資産の増減額(は増加)	548	1,289
定期預金の純増減額(は増加)	9,987	40,345
投資活動によるキャッシュ・フロー	289,709	174,270
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	7,769	21,089
配当金の支払額	98,223	97,534
少数株主への配当金の支払額	22,377	22,133
その他	60	101
財務活動によるキャッシュ・フロー	128,430	140,858

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	333	3,859
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	36,051	50,459
現金及び現金同等物の期首残高	7,208,551	8,205,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,172,499	8,155,261

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
1 受取手形割引高 2,483,905千円 2 期末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理をしております。したがって当連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。	1 受取手形割引高 2,131,557千円 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理をしております。したがって当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。
受取手形 209,667千円 支払手形 363,154千円 設備関係支払手形 4,035千円 受取手形割引高 113,902千円	受取手形 269,345千円 支払手形 367,644千円 設備関係支払手形 6,312千円 受取手形割引高 71,555千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
販売費及び一般管理費の主なもの 貸倒引当金繰入額 1,707千円 製品保証引当金繰入額 777千円 役員報酬及び給料手当 2,443,652千円 賞与引当金繰入額 117,747千円 役員賞与引当金繰入額 22,497千円 退職給付費用 298,566千円 役員退職慰労引当金繰入額 28,465千円	販売費及び一般管理費の主なもの 貸倒引当金繰入額 4,233千円 製品保証引当金繰入額 3,483千円 役員報酬及び給料手当 2,435,625千円 賞与引当金繰入額 151,234千円 役員賞与引当金繰入額 26,793千円 退職給付費用 315,693千円 役員退職慰労引当金繰入額 13,273千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 7,263,051千円	現金及び預金 8,205,524千円
預入期間が3か月超の定期預金 90,551千円	預入期間が3か月超の定期預金 50,262千円
現金及び現金同等物 7,172,499千円	現金及び現金同等物 8,155,261千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年3月30日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	97,319	5.00	平成22年12月31日	平成23年3月31日

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年8月5日 取締役会	普通株式	利益剰余金	97,318	5.00	平成23年6月30日	平成23年9月12日

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	97,316	5.00	平成23年12月31日	平成24年3月30日

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年8月7日 取締役会	普通株式	利益剰余金	97,315	5.00	平成24年6月30日	平成24年9月10日

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,563,581	983,916	1,500,210	18,047,707		18,047,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高			25,726	25,726	25,726	
計	15,563,581	983,916	1,525,937	18,073,434	25,726	18,047,707
セグメント利益	742,020	6,654	65,406	814,081		814,081

- (注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,253,726	1,233,588	1,425,761	18,913,075		18,913,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高			47,535	47,535	47,535	
計	16,253,726	1,233,588	1,473,296	18,960,611	47,535	18,913,075
セグメント利益	829,498	87,900	44,524	961,924		961,924

- (注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループの利用しているデリバティブ取引は為替予約取引のみであり、この取引についてはヘッジ会計を適用しているため、開示の対象から除いております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	19円15銭	18円13銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	372,824	352,858
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	372,824	352,858
普通株式の期中平均株式数(株)	19,463,726	19,463,265

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第67期(平成24年1月1日から平成24年12月31日まで)中間配当については、平成24年8月7日開催の取締役会において、平成24年6月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議しました。

中間配当金総額	97,315千円
1株当たりの額	5円00銭
支払請求権の効力発生日および支払開始日	平成24年9月10日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 7日

立川ブラインド工業株式会社

取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 並 木 健 治 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 尻 慶 太 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 土 居 一 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている立川ブラインド工業株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、立川ブラインド工業株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。